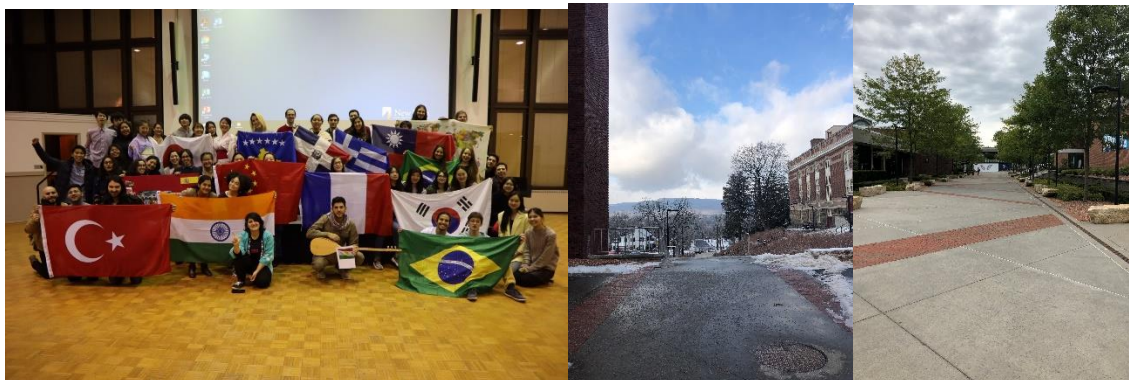


留学報告書



留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	ニューヨーク州立大学ニューパルツ校
留学期間	2019年8月～2020年1月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	90万円
保険料	13万円
宿舍費（1か月あたり）	12万5千円
食費（1か月あたり）	7万円
渡航旅費	10万円

滞在形態関連

1) 種類	寮。
2) 部屋の形態	相部屋（2人）。
3) 設備	シャワー、トイレ、エアコン、キッチン、ランドリー、インターネット、食堂、Studying Room、宅配ボックス。
4) 住居を探した方法	留学先大学の指定留学先大学のホームページ。

現地情報

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？	はい。
---	-----

2) 現地で病院にかかったことはありますか？
いいえ。
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？
はい。
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？
はい。ツベルクリン予防接種。
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？
留学先の友人。
6) 現地の治安はどうか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？
ニューパルツは安全でした。ただ、マンハッタンに行くときは手荷物に気を付けていました。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？
キャンパス内どこにいても、Wi-Fiが繋がります。私はソフトバンクのアメリカ放題に入っていたので、アメリカではインターネットに困りませんでした。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？
現地でお金を引き出す際に、日本のデビットカードやクレジットカードが使えたので、問題ありませんでした。
9) 利便性、買い物はどうか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？
キャンパス近くにTOPSというスーパーがあるので、そこを利用していました。また、日本食スーパーがマンハッタンにあるので、日本食が食べたくなったらマンハッタンに行っていました。
10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？
クレジットカード。
11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

渡航について

1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？
留学先大学のピックアップサービス。
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？
はい。1週間。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

履修した授業科目名
ESL / Reading and Writing for Academic Purposes
授業内容や試験、授業を受けた感想について

基本的には、明治で受けた Reading and Writing の授業と同じです。エッセイなどの課題が多く大変ですが、評価は甘めなので心配ありません。毎朝 9 時半に授業が始まるので、時々眠くなりましたが、ためになる授業でした。

履修した授業科目名

ESL / Grammar for Academic Purposes

授業内容や試験、授業を受けた感想について

基礎的な文法の授業です。仮定法や関係代名詞などの説明がすべて英語でされるので、理解するのが難しかったです。期末試験は今まで学習した文法事項を使ったインタビュープロジェクトをやりました。
--

履修した授業科目名

ESL / Listening and Speaking for Academic Purposes
--

授業内容や試験、授業を受けた感想について

この授業はスピーキングにフォーカスが充てられています。2, 3 週間に一回のペースでプレゼンテーションを作成し、発表するというをやっていました。
--

履修した授業科目名

ESL / Campus Culture and Success

授業内容や試験、授業を受けた感想について

この授業は、最初の 2 週間に先生がキャンパス内の施設案内をしてくれるものです。出席するだけで単位があります。

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>私が留学をすることを決めた理由は、私が高校生の時に英語を教えてくれていた先生にお世話になり、そこで英語を学ぶことの楽しさに気づき、自分自身も将来は英語を活かすことのできる仕事に就きたいと思ったからです。しかし、日本で英語を学習するにあたって、リーディングやライティングのスキルはある程度上達したものの、ネイティブスピーカーの英語を聞き取るリスニング力や、英語を流ちょうに話すスピーキング力はなかなか身に付きませんでした。そこで、私は実際に現地に留学し、常に英語に触れることのできる環境に身を置くことで、将来の自分のキャリアに活かせるような英語力を身につけたいと考えました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>留学の準備は早め早めで進めました。8月の半ばに出発したのですが、4月には受ける授業を決めたり、ツベルクリンの予防接種を受けに行ったりしていました。また、奨学金の申し込みなども同時並行で進めていました。6月にはビザの面接に行き、飛行機の手ケットも早めにとったおかげで安く取ることができました。そして、準備期間中にも英語の学習は怠らないようにしました。留学に行く前には、最低限の英語力をつけておかないとは友達を作ることすらできないと思ったからです。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>私は、ニューヨークのガイドブックを持参しました。そこには、ニューヨークの観光地の情報だけでなく、アメリカの文化や硬貨の情報、交通機関の利用の仕方までびっしり書いてあったので、非常に参考になりました。実際にニューヨーク観光中によく使用したアプリは、グーグルマップです。グーグルマップを使えば、どの地下鉄に乗れば目的地にたどり着けるか、どの場所が有名なのかなどを、すべて日本語で説明してくれます。また、Uberも同様に役に立ちました。これはタクシーサービスですが、時間がないうちや料金を割り勘にしたい時などは非常に便利です。</p>
<p>大学・学生の雰囲気 (職場や同僚の雰囲気)</p>	<p>キャンパスの雰囲気は落ち着いていて、過ごしやすいです。休日、朝早く起きた時はキャンパス内を散歩すると、動物達の鳴き声も聞くことができ、すがすがしい気持ちになります。自然に囲まれているので、勉強に適した場所だと思います。学生も勉強熱心な人が多く、授業中は必死で教授の言ったことをメモに取り、寝ている人など誰一人としていなかったもので、最初は圧倒されました。図書館には休日でも勉強しているたくさん人がいます。</p>
<p>滞在先の雰囲気</p>	<p>滞在先は学校指定の寮でした。大学のキャンパス内に寮が7、8個あり、そのうちの一つに住むことになります。問題なのは、寮に当たりはずれがあることです。ホテルのような寮もあれば、古くてホコリまみれの寮もあります。また、1つの部屋に1つのシャワールームがある部屋もあれば、1つの階にシャワールームが1つしかないというひどい寮もあります。そして、どの寮に配属されても滞在費は同じです。私の場合最初に割り当てられた寮が非常にきれいだったので、運がよかったです。ルームメイトもおとなしい性格で、大抵ベッドのなかにいたので、過ごしやすかったです。</p>

<p>留学先における交友関係</p>	<p>交友関係については非常に充実していました。ESL には、自分のように英語を学習している学生がおり、毎日一緒に授業を受けるにつれ仲良くなりました。また、私は international student union というクラブに入り多くの友達を作りました。そこでアメリカ人や韓国人の友達と仲良くなり、私たちは毎週のようにパーティーをしたり、映画を見たり、勉強も毎日図書館で一緒にしていました。週末にはマンハッタンやアミューズメント施設に一緒に行ったりもしました。私は自分と友達を結び付けてくれたこのクラブに非常に感謝しています。</p>
<p>留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと</p>	<p>留学中に困ったことは、最初授業料を三井住友銀行のデビットカードで払おうと考えていたのですが、利用することができなかったことです。三菱UFJのデビットカードを持っていた友人は支払いに成功していたのですが、なぜか三井住友銀行のデビットカードを持つ私ともう一人の友人はそのカードで支払いができませんでした。結局私とその友人は親に頼んで支払いをしてもらったのですが、三井住友のデビットカードを利用しようと考えている人には気を付けていただきたいです。あとは、ダイニングホールでの食事が単調なことです。いつも同じものを食べていました。</p>
<p>留学先における学習、課題や試験</p>	<p>ESL の Reading and Writing の授業は課題が多かったので、休日を使ってエッセイを仕上げるのが大変でした。Grammar の授業や Listening and Speaking の授業は基本的にすぐ終わる課題が多かったので、毎日一時間程度の学習で済みました。グループプロジェクトの課題が出された時は、やはり時間がかかりました。というのも、英語でコミュニケーションを取ることでずら難しかったからです。しかし、やり遂げた時の達成感は非常に大きかったです。ペーパーの試験は特に難しいものはないです。</p>
<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>授業は普段 17 時に終わるので、そのあとは図書館で勉強したり、所属していたクラブの活動に参加したりしていました。平日の夜は夜更かしすることはなかったのですが、金曜の夜は仲のいい友達とパーティーをしたり、映画を見たりして時間を過ごしました。休日はマンハッタンに行ってぶらぶらすることもあれば、課題に終わって図書館にこもることもありました。クラブの活動は週 2 回あり、課題もそれなりに多かったので、自由時間が多すぎて退屈することはありませんでした。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>経験して分かったのですが、留学に行くのと行かないのでは、英語力の向上スピードが全然違います。しかし、留学を活かせるかどうかは自分次第です。もし本当に英語が喋れるようになりたい、海外で友達を作りたいと思うなら、日本人だけではなく、アメリカ人にも積極的に話しかけることをお勧めします。そのためにはまず英語でどのように話しかけるかということから学ばなければなりません。なぜなら、そこだけができるようにしておかないと、仲良くなる段階までいけないからです。皆さんが後悔のない留學生活を送れることを願います。</p>